

2019年度 和教組和歌山市支部教研 全体会

## 目の前にいる子どもと貧困

### ～子ども食堂から見える今の社会～

**講師 馬場 潔子氏**

(子どもの生活支援ネットワーク こほうす代表)

2019年3月28日に発表された「和歌山県子供の生活実態調査」から、和歌山県における相対的貧困率は11.6%であることがわかりました。社会が急速に変化する中で、子どもの生活もますます苦しくなっているのではないのでしょうか。また、日本は「経済的な理由で夢をあきらめる国」であるという新聞記事もありました。

今回は、子ども食堂の取り組みにずっと関わってこられた馬場さんのお話を聞き、今の子どもの置かれている社会の状況に触れながら、子どもの行動や言動をどう考えたら良いのかを、みなさんとともに考えたいと思います。

「こほうす」は「子ども」の「こ」と「共に」という英語の接頭語である「co」をかけているそうです。「こほうす」は「子どもと共に過ごす家」という意味です。

**日時：10月22日(火)**

**13:00～14:10**

**場所：勤労者総合センター**